



Nihongo Spirit 日本語道

にほんごどう

空気を 読む

日本語 には 「空気を 読む」

という 言葉が あります。

これは、 人との交わりの場で

求められていることを それぞれが

察して発言する、 あるいは 行動する

という 意味です。

日本人は ほぼ 単一民族 で

同じ言語を 話し、 似た

価値観を 持っています。

そして、 人と同じような 行動をする

ことで 安心感を 得る

性質が ある と いえます。

また、 人に 迷惑を かけてはいけない

という 意識が強くあり、 それが

団結力に つながっています。

日本が 団体競技 で メダルを

たくさん とっている ことが それを

表しています。 たとえば、 オリンピックの

リレー では 日本チームの 合計タイムは

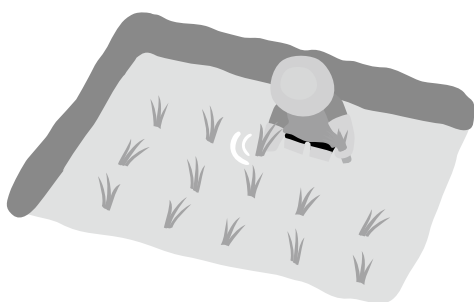
外国チームより はるかに劣っている

にも関わらず メダルを とっています。



しかし 一方では、 自己主張しない
日本人は 何を 考えているのか
わからない、 個性がない、 との
指摘が あります。

このような状況から 他の人 と
協力する 意識が 生まれ、
争いを 避ける 話し方 や
行動をとるようになった と 考えられます。



日本人は 農耕民族 で、 資源が
少なく 自然災害が 多い 島国
で 暮らしています。

日本語 には、 仲間外れにすることを
意味する 「村八分」 という 言葉が
あります。 それは、 村に住む人 にとって
最も恐ろしい仕打ち であり、 それは
現代でも 一部で 残っています。

この環境が 日本人の 性格形成に
影響を与え、 運命共同体
としての 社会構造を つくった
と いわれています。

「空気を読む」を 否定的に
解釈すること も あります が、
日本語道 としても 覚えておいてほしい
深い意味が 込められています。